2026年11月9日
独立行政法人国際協力機構（JICA）

【別添】フィリピン上院決議第673号（仮訳・要約版）

JICA（国際協力機構）に対する感謝決議

2026年9月30日採択

決議事項：

「フィリピン共和国上院は、フィリピンの発展への極めて重要な貢献、ならびにフィリピンと日本の友好協力関係を強化した功績を称え、JICAに敬意と謝意を表し、表彰する 」

JICAは様々な開発分野において43,350人のフィリピン人に対する研修を実施してきたほか、1,700名を超える日本人ボランティアや33,698名の専門家をフィリピンへ派遣し、ODA支援プロジェクトやプログラムに重要な知見と専門技術を提供してきた。

とりわけ交通運輸分野において多大な貢献を果たしており、国の「インフラ旗艦プロジェクト」向けODAの47.68%を担う筆頭ドナーとして、「マニラ首都圏地下鉄事業」および「南北通勤鉄道事業」の建設においてフィリピン政府と緊密に連携している。

日本とフィリピンが共に災害に脆弱であることを踏まえ、多数の災害リスク評価や防災計画策定プログラムを実施してきた。自然災害発生時には国際緊急援助隊（JDR）の派遣を通じ、緊急援助、専門的知見の提供、物資支援を一貫して行ってきた。

ミンダナオの平和と成長を促進する主要パートナーとして、紛争影響地域における基礎的社会サービスへのアクセス向上、インフラ整備、産業振興、地方自治能力の強化を通じ、同地域の社会経済開発に協力してきた。

これまで50年以上に及び、JICAは二国間関係の強化のみならず、フィリピン自身の包摂的かつ持続的な発展に寄与してきた。

※本仮訳は参考のためJICAが作成したものであり、正文は英語原文とする。